

平成26年 一般会計予算について討論

修正案賛成

原田 健志

大型予算で財政面の懸念はあるが、必要である予算全体を否とすることは適切ではない。今回、修正には三種がある。

- 一、整理し補正等で再度あげられることを望むもの。
- 二、担当課が重要案件を他に抱えており、まず整理・集中すべきと考えられるもの。
- 三、練込み不足で、当初予算に折り込むに疑問を感じるもの、疑問はあるがまず通しておこうでは、議会の意義を失う。

ゆえに修正案に賛成の立場から討論する。

修正案反対(原案賛成)

福中 満

1点目は6次産業育成の重要さです。10年後20年後の能勢町を考えると、実労働人口の半減・町税収減等は避けられない現実があります。将来の町の活性化のために6次産業育成は地域経済活性化の支え効果期待される重要な政策です。2

点目は新学校の新たな教育課程・カリキュラムづくり予算です。現在の8小中学校の教育成果を踏まえ、教育委員会が作成した新教育プランを町議会は何より尊重し支援すべきです。

修正案反対(原案賛成)

長尾 義信

大型公共事業が実行段階を迎える中、限られた予算をしっかりと執行

し、地域の活性化をめざす必要があります。特に新規事業の能勢町魅力化事業や野外活動センター跡地活用計画策定事業は、専門的な知識や経験を持った外部人材を招けいし、行政が丸となって地域資源を活かした6次産業化事業、新学校開校に向けての人材育成や学力向上事業及びセンター施設の活用対策を推し進めるべきであります。

元元な能勢を構築するためにも、原案に賛成の立場を取らせていただきます。

修正案反対(原案賛成)

大平喜代江

ハコモノを作ることが第一の目的なのか。ハコモノだけでなく、肝心の働き(機能)が発揮されることが重要で、それに係るソフト面での事業予算(学力向上や人材育成等)を

否定するのはいかなるものか。職員はオールマイティではない。職員は自治体ですべきことをしっかりと取り組み、住民の力を得、民間の手に委ね、住民に質の高い行政サービスを提供する。その提案型の新規事業の芽を摘むのですか。

修正案及び原案反対

中西 顕治

本予算案では新学校建設、火葬場建設と巨額の資金をつぎ込み、その尻拭いとして行財政改革プログラムを策定し貧困と格差を広げ、必要とされる住民福祉も切り捨てる準備を始めています。

必要なときに必要な制度の利用ができるようにするためにも福祉に一定の財源が必要です。行政は住民があつて成り立つのです。住民を守る能勢町政となることを切に望み、修正案及び原案に反対します。